

東海 K-CAR MEETING 2016

一般競技規則書

- 1) 大会名称
東海 K-CAR MEETING 2016
- 2) 開催日/申込期間
2016年9月11日(日) / 8月1日(月)~8月22日(月)
- 3) 主催者、大会事務局
主催者・大会事務局:
株式会社GT GARプロデュース
〒438-0073
静岡県磐田市二之宮東 14-17
TEL:0538-37-6677 FAX:0538-37-6678

- 4) 開催場所
スバ西浦モーターパーク(1598m)
〒443-0105
愛知県蒲郡市西浦町原山 3

- 5) 参加資格
大会期間中有効な運転免許証所有者。サーキット走行マナーを守り、主催者の指示に従える心身ともに健康な方。

- 6) 開催カテゴリとクラス

① タイムトライアル

ナンバー付き軽自動車※1によるタイムアタック。
以下のクラスを設定し、クラスごとに表彰を行う。

- § ターボクラス
- § NAクラス
- § レディースクラス
- § 軽トラ・軽バンクラス(車高 170cm 以上の車両)
※上記は全クラスともラジアルタイヤのみ。
- § エキスパートクラス・・・※1ターボ・NA問わず。Sタイヤ可。ナンバー無し可。

② スプリント(5カテゴリ)

それぞれのクラスの改造可能範囲の詳細と使用可能なタイヤについては、8)車両規則を確認のこと。

- ②-1 軽カー最速SB(スーパーバトル)日本一決定戦
改造範囲を問わないカテゴリ。排気量UP可。スリックタイヤ使用可。
§「ターボクラス」
§「NAクラス」
- ②-2 SSスプリント
ストリート仕様に近い改造範囲のカテゴリ。
§「ターボクラス」
§「NAクラス」
§「ボルトオンタービン Rクラス(以下 BOTR クラスと呼ぶ)」
§「ボルトオンタービン Sクラス(以下 BOTS クラスと呼ぶ)」
§「**アルトワークスクラス**」(36アルトワークスと36アルトRS)

- ②-3 NA660選手権(兼 関西NA660選手権Rd. 4)
NA660選手権規則に合致していること。(一部特例有り)

§ 660-0 クラス スーパーエキスパートクラス(触媒位置変更可能)

- § 660-1 クラス エキスパートクラス(車検対応品の触媒を装着可能)
- § 660-2 クラス ミドルクラス(3クラスの上位入賞経験者)
- § 660-3 クラス フレッシュマンクラス(セカンドラジアル限定)
- § 660-4 クラス **2ペダルクラス(AT, CVT, AGSの2ペダル)**

※各クラスの詳細は「NA660 選手権車両規則」を参照。
※ロールケージと牽引フックについては特例あり。(後述の車両規則を参照)

- ②-4 コペントロフィー
コペンのワンメイクレース。

§ オープンクラス(改造自由。Sタイヤ使用可)

- § チューンドタービンクラス(純正タービン以外装着車両)
- § ノーマルタービンタイヤ幅自由クラス(純正タービン装着車両)

§ ノーマル165&ATクラス(純正タービンタイヤ幅 165 まで※AT はタイヤ自由)

- ②-5 Kトラワールドシリーズ 2016 第3戦(第5回軽トラ&箱バン世界一決定戦)
軽トラック又は車高 170cm 以上の軽バン・ワゴン車。
§ ターボ Rクラス(過給圧制限なし)
§ ターボ Sクラス(過給圧 0.8Kg/cm² 以下)

§ NAsーパーエキスパートクラス

- § NAエキスパートクラス § NAビギナークラス
- § バン・ワゴンクラス § オープンクラス

②-6 S660トロフィー

ナンバー付き車、クラス分け無し、車検対応範囲の改造、ラジアルタイヤのみ。

7) 出場申込

① 申込先

株式会社 GT CAR プロデュース
〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東 14-17
TEL:0538-37-6677 FAX:0538-37-6678

② 出場申込期間

本書規則の2)に示す
※申込期間中でも募集台数に到達した場合はその時点で受付終了とする

③ 申込み方法

- ・別紙申込用紙に必要事項を記入し事務局宛に郵送。
申込用紙郵送後、下記口座まで参加料を振り込むこと。
- ・参加料の入金があった時点で、正式受付となります。
- ・振込先

浜松信用金庫 磐田支店 普通預金 0098186
口座名義 株式会社 GTCAR プロデュース

④ 参加料(消費税込み)

- ・タイムトライアル 全クラスとも
¥16,000
- ・スプリント 全カテゴリとも
¥21,000
- ※メカニックなどチームクルーの登録はありません。ドライバー以外の入場には一名につき¥500の一般入場料が必要となります。

⑤ 募集台数

スプリント:各カテゴリ-30台
(参加台数が少ないカテゴリは混走となる場合が御座います)

タイムトライアル:全 40台

⑥ ドライバー・クルー登録

- ・1エントリーにつき登録出来るドライバーは1名とする。
(チーム員登録は無いため、チーム員は一般入場して下さい)
- ・軽カー最速 SB 日本一決定戦カテゴリ限り、プロドライバーが運転する事が出来る。(プロドライバーとは、過去2年以内にスーパーGTもしくはスーパーフォーミュラに出場したドライバー)

⑦ 参加受理

参加の受理は参加受理書の発送をもってお知らせします。参加受理書は大会開催約1週間前に発送致しますので、参加受理書が届かない場合は事務局までご連絡下さい。集合時間や集合場所は参加受理書にてお知らせいたします。

⑧ キャンセル

受理書発送後はいかなる理由でもキャンセルや返金はお受け出来ませんのでご了承下さい。また、当日に参加者・参加車両に何らかの理由があり、走行を辞退いただくことになっても参加費の返金、参加に関わる費用の返金はいりません。台風などの荒天により走行不能で大会が中止となった場合については、返送手数料 1,000 円を差し引いた差額をご返金させていただきます。

⑨ 入場料(税込み)

ドライバー、出展社以外の方は、一般入場者と同じく入場料 ¥500 及び、場内駐車場の場合は駐車代 ¥500 が必要となります。(第2駐車場は駐車代無料)

8) 車両規定

【全クラス共通規定】

- 参加出来る車両
市販軽乗用車及び市販軽自動車ベースの改造車でヘッドライト、ウインカー、ストップランプ、フロントワイパーが正常に作動する車両であること。
ナンバーの有無については後述の表の通りとする。

■シートベルト

- ・スプリント参加車両は4点式以上の競技用シートベルトを必ず装着する事。
4点式ベルトはボルトなどで確実に固定すること。
- ・タイムトライアル参加車両は純正3点式シートベルトでOKとする。

■ロールバー

- ・オープンカーは4点式以上のロールバーを必ず装着すること(スバ西浦の規定による)。コペン、S660については純正ロールバーでOKとする。
- ・6点式以上のロールバーが装着されていないオープンカー車両は、ルーフを開けて(装着して)走行することを義務付ける。

■排気音量

スバ西浦モーターパークの音量規制値(走行時最大 95dB)以下であること。
(ストレートで音量測定をするので、規制値を超える場合はサイレンサーの取付けの指示がサーキットから出される)

■タイヤ

各カテゴリ/クラスの使用可能タイヤは下表の通りとする

カテゴリ	クラス	スリック	Sタイヤ	ラジアル
タイムトライアル	エキスパート	×	○	○
〃	エキスパート以外	×	×	○
S B	全クラス	○	○	○
S S	ターボ、NA、アルトワークス	×	○	○
〃	BOTR、BOTS	×	×	○
NA660 ※	全クラス	×	×	○
コペントロ	オープンクラス	×	○	○
〃	オープンクラス以外	×	×	○
軽トラ&箱バン	全クラス	×	×	○
S660トロフィー	クラス分けなし	×	×	○

・本数制限は無し。

・タイヤはフェンダー(オーバーフェンダー)からはみ出していないこと。
※NA660 で使用出来るタイヤ銘柄は、NA660 のレギュレーションに従うこと。それ以外のカテゴリで使用出来る主なタイヤは以下の通り。

【ラジアルタイヤ扱いとなる主なタイヤ】(エコタイヤも全てラジアル扱いとなる)

- ・ブリヂストン:ポテンザ RE-71、RE-11A、RE-11
- ・ヨコハマ:アドバンネオバ AD08、AD07
- ・ダンロップ:ディレツツァ Z2、Z1(スターベック含む) ・TOYO:プロクセス R1R
- ・クムホ:エクスタ V700 ・ATR SPORT:ATR-K SPORT

【S タイヤ扱いとなる主なタイヤ】

- ・ブリヂストン:ポテンザ RE-11S ・ヨコハマ:アドバン A050、A048
- ・ダンロップ:ディレツツァ 03G、02G ・TOYO:プロクセス R88
- ・ハンコック:ヴェンタス Z221 ・クムホ:エクスタ V710

※上に記載の無いタイヤについては事務局まで確認すること。

■各カテゴリ/クラスに参加出来る車両のナンバーの有無は下表の通り

カテゴリ	クラス	ナンバー無し	ナンバー有り
タイムトライアル	エキスパートクラス	○	○
〃	エキスパートクラス以外	×	○
S B	全クラス	○	○
S S	ターボ、NA	○	○
〃	BOTR、BOTS、アルトワークス	×	○
NA660	全クラス	×	○
コペントロ	オープンクラス	○	○
〃	オープンクラス以外	×	○
軽トラ、S6トロフィー	全クラス	×	○

※白ナンバーの軽自動車に参加する場合は事前に事務局の許可を得た上で参加し、出走クラスについては事務局の指示に従うこと。カテゴリによっては出走出来るが章典外となる場合がある。

■各カテゴリーの車両規定

①タイムトライアル

前述の共通規定を満たすこと。エキスパートクラスは改造自由。それ以外のクラスは車検に通る範囲の改造は認められる。

②スプリント

- ・前述の共通規定を満たした上で、以下の規定に沿った改造を認める。
- ・ナンバー付車両は車検に通る範囲内の改造でなければならない。

1. 軽力ー最速 SB 日本ー決定戦

- ・改造範囲を問わないオープンクラス。排気量の変更は可能。

2. SS スプリント

- ・全クラスとも排気量の変更は出来ない。
- ・ターボクラス、NAクラス、アルトワークスクラスは他の規定項目に反しない範囲で改造は自由。
- ・ターボエンジン車で使用できるタービンは下表の通り

クラス	使用可能なタービン
ターボ	何でもOK
BOTR	ノーマルタービン及び、RHB31、HT06、HT07、DX27、DX30 相当(純正マニにポン付け出来るタービン相当に限る)
BOTS	

- ・BOTR クラスは、エアコン、内装、助手席レスが認められる。
- ・BOTS クラスは、エアコン、内装、助手席が装着されていなければならない。

3. NA660 スプリント(新規格軽のNA車)

- ・2016 年 NA660 選手権の車両規則に従うことー

http://sportsland-sugo.co.jp/event-data/2016/2016_tohoku660/2016_regulation.pdf

- ・当レースにおいては、以下の例外1と例外2の装備を認めるが、これらの例外を適用する車両については、関西NA660選手権のシリーズポイントは付かない。(ただし当レースにおいては表彰対象となる)
- ・例外1) ロールバー未装着でも参加可能とする。ただしロールバー未装着の車両は、助手席と後部座席は装着したままで走行すること。
- ・例外2) 牽引フックは純正フックでも可能とする。ただし純正フックで走行する場合は、バンパーに純正フックの位置を示す赤色又は黄色の矢印(10cm程度の大きさのもの)を表示すること。

4. コペントロフィー(コペンのワンメイク)

- ・オープンクラスは改造無制限、Sタイヤの使用が可能。
- ・チューンドタービンクラスはタービン変更は自由。
- ・ノーマルタービンクラスはその車両に標準装着のタービンを搭載していること。
- ・ノーマル 165 & ATクラスは、ノーマルタービンで 165 幅までのタイヤを装着していること。ATクラスは、タービンの種類・タイヤ幅は問わない。
- ・165 クラスは 165 幅のタイヤを装着していること。

5. 軽トラ&箱バン世界ー決定戦(全クラス共通)

- ・Kトラワールドシリーズ 2016 の車両規則に従うこと。
- 以下の4項目は第3戦特有の規則なので、第1戦、第2戦に参加した人は注意すること。
- ・4点式以上のシートベルトを装着すること。
- ・オーバーフェンダーはビスや両面テープで簡易的に固定されているものであれば装着を認める(ラバーフェンダーでもOK)。タイヤはオーバーフェンダーからはみ出していないこと。
- ・排気音量については、スパ西浦モーターパークの規定値(走行時最大95dB)以下であること。
- ・現地交換すれば触媒レスのフロントパイプで走行しても良い。
- ※車両規則について不明な点がございましたら、事務局までお気軽にお尋ね下さい。

6. S660トロフィー(S660のワンメイク)

- ・車検に通る範囲の改造は認められる。
- ・ロールバーは純正品でOKとする。
- ・タイヤはラジアルタイヤであること。(Sタイヤ以上は認められない)

9)燃料

ガソリンスタンドで販売しているものを使用すること。(スパ西浦モーターパーク

内にはガソリンスタンドが無いので注意)

10)ピットロード制限速度

スパ西浦モーターパークのピットロードの速度規定は 40km/h 以下となっている。速度超過はペナルティが課せられる場合がある。

11)給油方法

- ・給油には必ず、ガソリン専用の携行缶を使用すること。
- ・ピットエリアでは、ピット前後のコンクリート上であれば給油しても良いが、ピット屋根下での給油は禁止とする。
- ・ピット前後以外のパドックで給油する場合は、指定給油場所(サーキット事務所奥の海側にある砂利駐車場の一角(給油場所の看板あり))で行うこと。

12)ペナルティ

- ・スプリントの決勝においては、JAF のレース規則に基づいた判定を行ない、違反行為や危険行為が発見された場合はペナルティが課される。
- ・レース中もしくはレース終了後に2名以上の参加者より、イエロー区間での追い越し等の危険行為に関して報告を受けた場合、協議の上ペナルティを課す場合がある。(タイムトライアル、フリー走行、予選においては、各ポストにポスターが入らず、シグナルにて全コースイエローコーションを出すので、全コースにおいて追い越し禁止となる)
- ・ペナルティを課せられたドライバーは必ず従わなければならない。
- ※皆さんに安全に走行を行っていただく為の事ですので、ご理解ご協力をお願い致します。

13)赤旗規則

- コース上において走行が危険であると判断した場合、全ポストにてレッドシグナル又はレッドフラッグが表示され、走行は一時中断となる。
- ・タイムトライアル、フリー走行時、予選時に赤旗が提示された場合は、ピットロードに戻ること。
- ・スプリントの決勝時に赤旗が提示された場合は、8番ポスト前を先頭にコース左側に寄って停止すること。(詳しくは当日のフリーフィンギングで説明する)
- ・赤旗後の対応については、危険個所が復帰した時点で出されるスタッフの指示、または場内放送に従うこと。

14)参加者の装備

- ①ドライバーの服装は、長袖・長ズボン・ヘルメット・グローブ・運転に適したシューズを着用しなければならない。(耐火性のドライビングスーツ、グローブ、シューズを使用することを強く推奨する)
- ②ヘルメットはフルフェイスタイプもしくはジェットタイプを着用すること。

15)走行内容

■タイムトライアルクラス

15分×4本のタイムトライアル。

■スプリント

フリー走行(約15分)、予選(約15分)、決勝レース(10分)

予選結果によるグリッドスタートにて決勝レースを行う。

※雨天時は決勝レースが8周となる場合がある

16)スタート方法

スプリントの決勝は、予選結果にもとづくグリッドスタートとする。

17)パドック使用に関して

- ・クラスごとに割り当てられたパドック位置に車両を止めること。(公式通知 No.2を確認すること)
- ・整備は各自のパドック、ピット海側のコンクリートスペース、またはショップ出展場所で行ない、ピット内では行わないこと。(走行中の緊急メンテナンス時は除く)
- ・パドックのアスファルト部分でジャッキアップする場合はジャッキの下にベニア板を敷くこと。(コンクリート部分はベニア板不要)
- ・自己パドックエリアに簡易テントを張ることは認めるが、スパ西浦は風が強いので、テントが飛ばされないよう必ずおもりで固定すること。

18)ピット使用に関して

- ・PITは自身の走行時間中のみ使用可能となる。使用出来るPIT位置は公式通知で発表する。
- ・PIT数には限りがあるため、他のカテゴリー/クラスのエンタラントと一緒に使用することになるので、お互いに譲り合って使用すること。
- ・PITは参加者全員の共用スペースとなるので、工具類、イス、折りたたみテー

ブルを持ち込む程度にすること。(雨天の場合のみ、その他の荷物を置くこともOKとする)

・ピット内は禁煙、火気厳禁。喫煙はサーキット事務所横の指定喫煙場所で行うこと。

19)賞典

各クラスの決勝出走台数により賞典対象を下記のとおり決める。

- ・出走台数3台以下の場合・・・1位のみ表彰
- ・出走台数3~6台の場合・・・2位まで表彰
- ・出走台数6台以上の場合・・・3位まで表彰
- ※スポンサーの意向により4位以下まで表彰する場合がある

20)安全遵守事項

- ・ドライバーフリーフィンギングには、ドライバー本人が必ず参加すること。参加しない場合は出走できない。
- ・走行に適した健康状態で参加し、走行中は常にお互いの安全を考慮した強調的マナーのもとに、自己の技量とコース状態に適した速度で走行すること。また、危険とみなされる行為を行ってはならない。
- ・場内施設を破損した場合は、復旧に要した費用を支払わなければならない。スパ西浦モーターパークは、芝生、ツツジ、クラッシュパッドなども含まれる。
- ・トラブルや時間の関係でスケジュールが変更となる場合がある。
- ・開催は雨天決行。

21)本規則の施行について

ここに提示されていること以外に発生した事項は、競技長が判断の上で決定を行う。本規則とは、ここに書かれている内容と、ドライバーズフリーフィンギングの内容も含まれる。